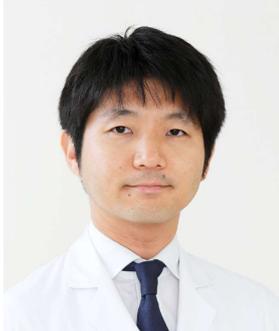


人工水晶体囊の開発

① 共同研究・産学連携への意気込み



講師 (学内)
小嶋 健太郎

水晶体支持組織(水晶体囊、チン小帯)の機能が損なわれている患者さんをの白内障手術に用いる人工水晶体囊の開発を目指しています。

② 想定される連携先・移転先

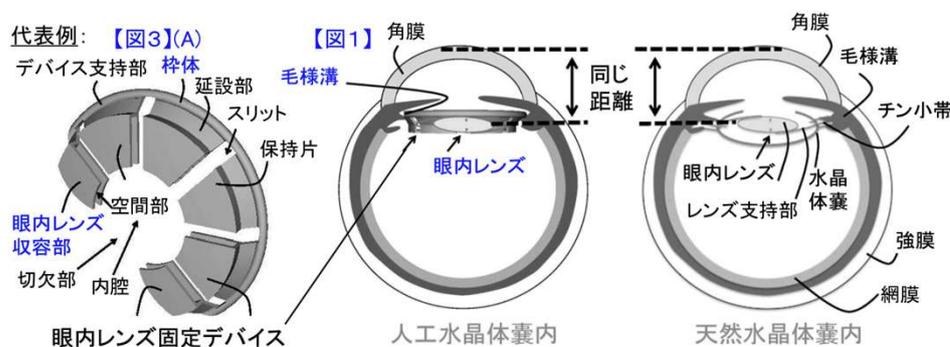
形状・素材のさらなる最適化が必要であると考えています。数年以内に非臨床POCを取得し、治験に繋げることを目指しています。

キーワード

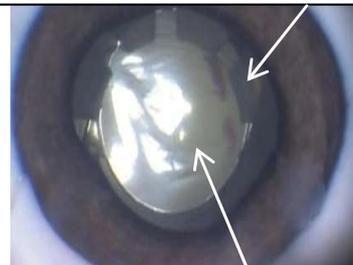
白内障、眼内レンズ、水晶体再建術

研究内容

水晶体支持組織(水晶体囊、チン小帯)の機能が損なわれている患者の水晶体再建術(白内障手術)において、既存の毛様溝固定や強膜への縫着等の眼内レンズ固定法における問題点を解決し、水晶体支持組織が健常な患者の手術で使用されているすべての種類の眼内レンズの利用を可能とする人工水晶体囊の開発を目指しています。これまでに、摘出豚眼を用いた試験により眼内レンズの固定が可能であることを確認し特許出願済みです。



人工水晶体囊デバイスは眼内の毛様溝に良好に固定



眼内レンズがデバイス内に良好に固定されている

摘出豚眼での実験

特願2017-024097. 代表発明者: 小嶋 健太郎
出願人: 京都府公立大学法人 京都府立医科大学
PCT/JP2018/004923.